

令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験実施要項

香川県教育委員会
高松市教育委員会

1 試験の目的

この試験は、令和6年度の香川県公立学校教員（高松第一高等学校教員を含む。）の採用に当たっての選考資料を得るために実施するものである。

このような先生を求めています

- 教育に対する情熱をもち、素養と資質を備えた教員
- 専門的な知識・技能と指導力を有し、社会変化や教育課題に適切に対応できる教員
- 連携・協働しながら学校運営に積極的に参画する教員

〈受付期間・選考試験日〉

受付期間	インターネット	令和5年5月2日(火)～5月26日(金) 17:00まで	
選 考 日	第1次選考試験	筆記試験等	7月15日(土)～7月16日(日)
		面接試験	7月15日(土)、7月17日(月・祝)、 7月18日(火)、7月21日(金)*のうち、指定された1日
	第2次選考試験	面接試験等	8月18日(金)～8月23日(水)、 8月26日(土)～8月27日(日)*のうち、指定された1日

*7月21日(金)(第1次選考試験)と8月27日(日)(第2次選考試験)は関西会場で実施する。(小・中志願者対象)

※天災等により公共交通機関に著しい乱れが生じるおそれがある場合、選考試験の日程や内容を変更することがある。その際には、香川県教育委員会のホームページに詳細を掲載する。

※「秋募集」の要項及び詳細については、9月上旬に公表予定(4ページ参照)。

2 試験を実施する校種等

(1) 教諭

種別	勤務する学校	教科・科目	採用予定数	併願可能種別
小	市町立小学校		184名 程度	中
中	市町立中学校	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語		小
高	県立高等学校 (特別支援学校高等部を含む) 高松市立高等学校	国語 世界史 日本史 地理 公民 数学 物理 化学 生物 地学 保健体育 音楽 美術 英語 家庭 情報 機械 電気 建築 水産 看護 福祉 理療	57名 程度	
特支	県立特別支援学校(小学部)			
	県立特別支援学校(中学部)	市町立中学校と同じ		
	県立特別支援学校(高等部)	県立高等学校と同じ		
	県立特別支援学校(自立活動)*			

*特支(自立活動)の領域は「肢体不自由教育」とする。

(2) 養護教諭

種別	勤務する学校	採用予定数	併願可能種別
養教(小中)	市町立小学校・中学校	5名程度	養教(高特)
養教(高特)	県立高等学校・特別支援学校		養教(小中)

3 出願資格

学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない者であって、次の(1)～(6)の選考区分ごとに掲げる条件のいずれにも該当する者であること。

出願可能な校種等	一般選考	特別選考Ⅰ ^{※1}							特別選考Ⅱ (障害者を対象とした選考)	特別選考Ⅲ ^{※2} (他の都道府県・指定都市の現職者)	特別選考Ⅳ ^{※2} (大学等推薦者)	特別選考Ⅴ ^{※2} (前年度第1次選考試験に合格した本県講師)
		①民間企業等経験者	②本県/他の都道府県・指定都市の元職者	③他の都道府県・指定都市の現職者 ^{※3}	④現に本県実習助手又は寄宿舎指導員	⑤本県講師等経験者	⑥複数免許所有者	⑦一定の英語力をもつ者				
小学校	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
中学校	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
高等学校	●	●	●	●	●			●	●	●		
特別支援学校	●	●	●	●	●			●	●	●		
養護教諭	●	●	●	●	●				●			

※1 特別選考Ⅰ：第1次選考試験の総合教養が免除される。

※2 特別選考Ⅲ～Ⅴ：第1次選考試験のすべてが免除される。

※3 「現職者」とは、現に都道府県・指定都市の公立学校の教諭等（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む）、養護教諭又は栄養教諭として勤務している者をいう。（以下、「現職者」という。）

それぞれの詳細は後述のとおり。

(1) 一般選考

ア 教育職員免許法により授与される各相当の有効な普通免許状を有する者又は令和6年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者

- ・ 「高」の機械、電気、建築に出願できる者は、高等学校の工業の普通免許状を有する者でなければならない。
- ・ 「高」の水産にあっては、高等学校の商船についての普通免許状を有する者も出願できる。
- ・ 「特支」の小学部、中学部、高等部に出願できる者は、特別支援学校の普通免許状のほか、特別支援学校の各部に相当する学校の普通免許状を有する者でなければならない。
- ・ 「特支」の自立活動に出願できる者は、特別支援学校自立活動教諭の普通免許状（肢体不自由教育）を有する者でなければならない。

イ 昭和49年4月2日以後に生まれた者

(2) 特別選考Ⅰ 以下のア～ウのいずれにも該当する者は、第1次選考試験の総合教養を免除する。

ア 次の①～⑧のいずれかに該当する者

- ① 教諭（高等学校又は特別支援学校に限る。）又は養護教諭を志願する者で、民間企業等において通算3年以上の勤務経験^{※1}（教育に関する職務を除く。）を有し、その勤務経験により、出願教科・科目等に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められる者
- ② 過去において本県又は他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭等（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む）、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者
- ③ 現に他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭等（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む）、養護教諭又は栄養教諭の職にある者（特別選考Ⅲに出願する者を除く。）
- ④ 現に本県公立学校で、実習助手又は寄宿舎指導員の職（臨時又は非常勤の者を除く。）に5年以上ある者
- ⑤ 本県の国公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校で、講師等^{※2}として、平成31年4月1日から令和5年5月26日までに、通算24か月以上の勤務実績（異校種の勤務実績を合算することができる。）がある者
- ⑥ 小学校又は中学校の教諭を志願する者のうち、本県の国公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校において、講師等^{※2}として、令和4年4月1日から令和5年5月26日までに、1か月以上の勤務実績がある者で、次の(A)又は(B)のいずれかに該当する者。ただし、(A)については、同じ校種・教科の免許状（専修、一種、二種）は除く。
 - (A) 出願時に、小学校、中学校又は特別支援学校の普通免許状のうち、2つ以上を有している者
 - (B) 出願時に、複数の教科の中学校の普通免許状を有している者

⑦ 小学校の教諭を志願する者のうち、次の(A)に該当し、かつ(B)又は(C)のいずれかに該当する者

(A) 次の[a]～[c]のいずれかに該当する者 **必須**

[a] 中学校又は高等学校の英語の普通免許状を有する者

[b] 英語を母語とする者又はヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) B2 相当以上の英語力を有する者

[c] 海外大学又は青年海外協力隊若しくは在外教育施設等で、24 か月以上の英語を使用した留学又は勤務の経験がある者

(B) 本県の国公立小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校において、講師等^{*2}として平成31年4月1日から令和5年5月26日までに、通算12か月以上の勤務経験がある者

(C) 本県の国公立小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校において、外国語指導助手として、平成31年4月1日から令和5年5月26日までに、通算24か月以上の勤務経験がある者

⑧ 高等学校又は特別支援学校の教諭を志願する者のうち、国内の教職大学院に在学中で、令和6年3月31日までに修了見込みの者

※1 勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができる。(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく活動経験を含む。)

※2 任期付職員又は臨時的任用職員として勤務している講師、養護助教諭及び学校栄養職員、又は会計年度任用職員(週30時間以上)として勤務している講師をいう。

イ (1)一般選考のアに示す要件を満たす者。ただし、特別選考Ⅰ①又は⑦にも該当する者^{*3}にあっては、特別免許状の授与資格を有する場合は、当該普通免許状の取得又は取得見込みがなくても受験できるものとする。

また、特別選考Ⅰ⑥については、教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状を有する者とする。

なお、「養教」の志願者については、各相当の普通免許状を有する者でなければならない。

※3 特別選考Ⅰ①又は⑦で出願を希望する場合は、事前に出願資格の有無について問い合わせること。なお、特別免許状(9ページ参照)の授与資格を有する場合は、当該普通免許状の取得又は取得見込みがなくても受験できる。

ウ 昭和39年4月2日以後に生まれた者

(3) 特別選考Ⅱ (障害者を対象)

ア 身体障害者手帳(1級から6級)、療育手帳(AからB)又は精神障害者保健福祉手帳(1級から3級)(以下、「身体障害者手帳等」という。)の交付を受けた者

イ (1)一般選考のアに示す要件を満たす者。ただし、特別選考Ⅰ①又は⑦にも該当する者にあっては、特別免許状の授与資格を有する場合は、当該普通免許状の取得又は取得見込みがなくても受験できるものとする。

ウ 昭和39年4月2日以後に生まれた者

(4) 特別選考Ⅲ (他県で現職にある者を対象)

以下のア～ウのいずれにも該当する者は、第1次選考試験のすべてを免除する。

ア 現に他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭等(校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む。)の職にある者で、小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭を志願する者。ただし、出願時の職と同一の校種、教科に限り出願できることとする。

イ (1)一般選考のアに示す要件を満たす者

ウ 昭和39年4月2日以後平成8年4月1日以前に生まれた者

(5) 特別選考Ⅳ (大学等から推薦を受けた者を対象)

以下のア～ウのいずれにも該当する者は、第1次選考試験のすべてを免除する。

ア 次の①、②のいずれかに該当する者

① 小学校教諭を志願する者のうち、小学校一種(専修)普通免許状取得のための課程認定を受けており、通信制の課程によらない大学、大学院及び教職大学院に在籍^{*4}し、推薦条件^{*5}を満たし、学長等が推薦する者(各大学等で1名)

※4 令和6年3月に大学卒業見込み又は大学院修了見込みであること。

※5 詳細は、別途「令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験大学等推薦特別選考実施要項」を参照すること。

② 小学校教諭を志願する者のうち、香川県教育委員会が指定した大学等に在籍し、推薦条件^{*5}を満たし、学長等が推薦する者

イ (1)一般選考のアに示す要件を満たす者

ウ 昭和39年4月2日以後に生まれた者

(6) 特別選考V（前年度第1次選考試験に合格した本県講師を対象）

以下のア～エのいずれにも該当する者は、第1次選考試験のすべてを免除する。

ア 小学校又は中学校教諭を志願する者のうち、令和5年度（令和4年度実施）香川県公立学校教員採用選考試験において、第1次選考試験に合格した者（前年度と同一校種、教科を受験する者に限る。）

イ 令和5年度、本県の国公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校で講師^{*6}として勤務^{*7}する者

ウ (1)一般選考のアに示す要件を満たす者

エ 昭和39年4月2日以後に生まれた者

※6 任期付職員又は臨時的任用職員として勤務している講師、又は会計年度任用職員（週30時間以上）として勤務している講師をいう。

※7 令和5年4月1日から令和5年5月26日までの間に、勤務実績（任用予定を含む。）がある者をいう。

4 加点申請制度

次の加点要件を満たした者には、第1次選考試験の総合成績に加点する。ただし、(2)(3)については、いずれか一方のみの加点とする。

	加点要件	点数
(1)	「美術」「技術」「家庭」を除いた教科・科目の中学校教諭に出願する者で、出願時に、「美術」「技術」「家庭」の中学校教諭普通免許状を有する者、又は令和6年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者	5点
(2)	高等学校教諭に出願する者で、出願時に、出願する教科以外の教科の高等学校教諭普通免許状を有する者、又は令和6年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者 ただし、次の(A)～(B)に該当する場合を除く。 (A) 地理歴史科又は公民科の科目に出願する者で、地理歴史の高等学校教諭普通免許状と公民の高等学校教諭普通免許状の2つを有している者 (B) 出願する教科の高等学校教諭普通免許状と当該教科の実習を担当する教諭の免許状の2つを有している者	5点
(3)	高等学校教諭に出願する者で、出願時に、特別支援学校普通免許状を有する者、又は令和6年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者	5点

加点を希望する場合は、出願時に願書の加点申請制度の項目で「希望する」を選択した上で、免許状の写し（又は免許状の取得見込み証明書）を郵送にて提出すること。また、第1次選考試験当日に免許状の原本を持参し提示する必要がある。原本の提示がない場合、加点することはできない。

なお、令和6年3月31日までに加点対象となる免許状が取得できなかった場合は、第2次選考試験に合格していても、採用を取り消す場合がある。

〈秋募集について〉

次の①②のいずれかに該当する者であって、令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験（令和5年7月～8月実施）を受験していない者を対象に秋募集を行う（詳細については、9月上旬にホームページで公表する予定）。

① 小学校又は中学校教諭を志願する者のうち、現に他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭等（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む。）の職にある者。ただし、出願時の職と同一の校種、教科に限り出願できることとする。

② 小学校教諭を志願する者のうち、小学校一種（専修）普通免許状取得のための課程認定を受けており、通信制の課程によらない大学、大学院及び教職大学院に在籍し、推薦条件を満たし、学長等が推薦する者

〈受験時の特別措置について〉

身体に障害があるなどの理由で、特別な配慮を必要とする者の受験に当たっては、障害の内容や程度に応じて、受験教室等を配慮するほか、試験内容の一部を免除することがあるので、希望する事項を願書の「受験上の配慮を希望する事項」欄に記入し、事前に相談すること。

〈日本国籍を有しない者について〉

日本国籍を有しない者は、採用時に従事可能な在留資格が必要である。また、採用後任用される場合は、児童生徒の教育指導に専任することとし、公立学校職員の給料等の支給に関する規則第21条に規定する教務主任等の職務を行うことや、香川県教育委員会が実施する昇任試験を受験することはできない。

5 出願手続

出願方法は原則としてインターネットによる出願(電子申請)のみとします。
※特段の事情によりインターネットによる出願が困難な場合は、お問い合わせください。



(1) 出願方法

- ア ホームページ「【香川県】電子申請・届出メニュー」(<https://s-kantan.jp/pref-kagawa-u/>) にアクセスし、「利用者登録」で利用者情報を登録後、出願すること(システムの「ヘルプ」参照)。
なお、複数の者で共有するメールアドレス(例えば、職場の代表メール)は登録に使用しないこと。
- イ 申請の受信後、3日以内にメールで「受理通知」又は「補正指示」を発信するので、メールの確認を怠らないこと。なお、登録後のメールアドレスの変更はできない。
- ウ 「補正指示」があった場合、「補正指示」を出した日から6日間を補正期間とするので、5日後の17:00までに指示にしたがって再度申請を行うこと。
[例] 5月26日に「補正指示」が出た場合、5月31日17:00が再度申請の締切となる。
- エ 補正期間内に補正が完了しない場合は、出願が受理できない場合がある。
- オ 受験票のダウンロードの通知は、7月上旬に送信する予定である。印刷して試験時に持参すること。
- カ 専門教養(英語)の免除を希望する英語志願者及び特別選考Ⅱの志願者は、下記を参照し、必要書類を添付すること。なお、第1次選考試験の7月16日(日)に原本の確認をするので、原本を持参すること。

専門教養(英語)の免除を希望する英語志願者

ファイル添付

以下の条件のいずれかを満たす者は、資格を証明できる書類の写し(PDFファイル又はJPEGファイル)をインターネットによる出願時に添付すること。

※いずれも平成30年4月1日以降の取得に限る。出願後に取得したものは認めない。

実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)	1級合格	TOEFL((一社)国際教育交換協議会)	iBT 92点以上
TOEIC((一財)国際ビジネスコミュニケーション協会) ※公開テストによるスコアのみを対象とする	850点以上	IELTS((公財)日本英語検定協会)	7.0点以上

特別選考Ⅱの志願者

ファイル添付

特別選考Ⅱの志願者は、願書の「身体障害者手帳等」欄に級別・判定区分及び障害名を入力し、その手帳の写し(PDFファイル又はJPEGファイル)をインターネットによる出願時に添付すること。

(2) 受付期間

令和5年5月2日(火)から令和5年5月26日(金)17:00まで

(3) 願書入力上の注意

◆ 入力に不備がある場合は、受け付けないことがある。入力後、PDFプレビュー(10ページ参照)で内容確認すること。

- 1 選考区分欄で特別選考Ⅰを志願する者は、出願資格①～⑧のうち該当するものを選択すること。特別選考Ⅱの志願者で、特別選考Ⅰの出願資格にも該当する者は、特別選考Ⅰ及び特別選考Ⅱの両方を選択し、出願資格①～⑧のうち該当するものを選択すること。
- 2 第2志望種別欄は、併願希望者のみ第2志望を選択すること。
「高」、「特支」志願者は、併願が認められないので選択できない。
- 3 受験教科・科目欄は、「中」、「高」、「特支」中、「特支」高志願者のみ入力すること。
- 4 上記以外の連絡先欄は、緊急の場合に連絡の取れるところを入力すること。
- 5 教員免許状欄に入力した免許状が、各相当の普通免許状であることを確認すること(2～4ページ参照)。学校図書館司書教諭講習修了者は、その旨入力すること。取得見込の場合も必ず入力すること。
- 6 受験上の配慮を希望する事項欄は、受験に当たって、身体に障害があるなどの理由で特別な配慮を必要とする場合に、その障害の内容や程度、希望する配慮事項を入力すること。ない場合は「なし」と記載すること。
- 7 特別選考Ⅱの志願者は、所有する身体障害者手帳等の記載内容にしたがって、級別・判定区分及び障害名を入力すること。
- 8 情報提供希望欄は、第1次・第2次選考試験の選考結果の総合ランク(不合格者のみ対象)及び個人得点の情報提供の希望の有無を選択すること。

6 特別選考Ⅰ、Ⅲ～Ⅴの出願及び加点申請制度に必要な提出書類

(1) 特別選考Ⅰ、Ⅲ～Ⅴ出願の提出書類

◆提出書類に不備がある場合は受理できない場合があるので、十分注意すること。なお、提出した書類は返還しない。

ア 特別選考Ⅰ①

- ・用紙2「自己アピール文（日本語）」（12ページ参照）

※特別選考Ⅰ①については、上記を出願時に提出するほか「勤務先推薦書」を第2次選考試験時に提出する。様式は問わないが、業務内容や勤務状況等、在勤時の様子が記載されているもの。

イ 特別選考Ⅰ②

- ・他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者については、当該都道府県・指定都市の教育委員会が発行する「履歴証明書」

ウ 特別選考Ⅰ⑤

- ・用紙3「令和6年度講師等を対象とした特別選考による受験申請書」（13・14ページ参照）
※平成31年4月1日から令和5年5月26日までの期間のうち、24か月以上の勤務歴を記載すること。
- ・用紙3に記載した勤務歴において発令庁が香川県教育委員会でない場合は、用紙4「在職証明書」（15ページ参照）

エ 特別選考Ⅰ⑥

- ・用紙3「令和6年度講師等を対象とした特別選考による受験申請書」（13・14ページ参照）
※令和4年4月1日から令和5年5月26日の期間のうち、1か月以上の勤務歴を記載すること。
- ・用紙3に記載した勤務歴において発令庁が香川県教育委員会でない場合は、用紙4「在職証明書」（15ページ参照）
- ・2ページに示した（A）または（B）のいずれかについて、教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状の写し
※第1次選考試験の7月16日（日）に原本を確認するので、原本を持参すること。

オ 特別選考Ⅰ⑦

- ・用紙2「自己アピール文（日本語）」（12ページ参照）
- ・3ページに示した（A）を証明する書類の写し（〔a〕については、教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状の写し）
※第1次選考試験の7月16日（日）に原本の確認をするので、原本を持参すること。
- ・用紙3「令和6年度講師等を対象とした特別選考による受験申請書」（13・14ページ参照）
※3ページに示した（B）に該当する者は、平成31年4月1日から令和5年5月26日の期間のうち、12か月以上の勤務歴を記載すること。
※3ページに示した（C）に該当する者は、平成31年4月1日から令和5年5月26日の期間のうち、24か月以上の勤務歴を記載すること。
- ・用紙3に記載した勤務歴において発令庁が香川県教育委員会でない場合は、用紙4「在職証明書」（15ページ参照）

※3ページに示した（C）に該当する者は、上記を出願時に提出するほか「勤務先推薦書」を第2次選考試験時に提出する。様式は問わないが、業務内容や勤務状況等、在勤時の様子が記載されているもの。

カ 特別選考Ⅰ⑧

- ・在学中の教職大学院が発行する「教職大学院修了見込証明書」

キ 特別選考Ⅲ

- ・用紙5「令和6年度特別選考Ⅲによる受験申請書」（16ページ参照）
- ・94円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名、受験番号を記載した長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）
（20ページ参照）

ク 特別選考Ⅳ

- ・94円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名、受験番号を記載した長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）
（20ページ参照）
- ※別途「令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験大学等推薦特別選考実施要項」を参照

ケ 特別選考Ⅴ

- ・用紙3「令和6年度講師等を対象とした特別選考による受験申請書」（13・14ページ参照）
- ・94円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名、受験番号を記載した長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）
（20ページ参照）

(2) **加点申請制度の提出書類**

・ 4 ページに示した加点要件を証明する教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状(又は免許状の取得見込み証明書)の写し

※第1次選考試験の7月16日(日)に原本の確認をしますので、原本を持参すること。

(3) **提出方法 郵送(書留郵便が望ましい)**

封筒の左下隅に「小志願」「中志願」「高志願」「特支志願」「養教志願」の別を朱書すること。

(4) **提出期間 令和5年5月2日(火)から令和5年5月31日(水)(当日消印有効)まで**

(5) **郵送先**

「小」「中」「養教」	〒760-8582 高松市天神前6番1号 天神前分庁舎(8階) 香川県教育委員会事務局 義務教育課長 宛
「高」「特支」	〒760-8582 高松市天神前6番1号 天神前分庁舎(7階) 香川県教育委員会事務局 高校教育課長 宛

7 第1次選考試験選考結果発表後に必要な提出書類

(1) **提出書類**

第1次選考試験合格者(第1次選考試験免除者を含む。以下、同じ。)は、用紙1「面接カード」(11ページ参照)を提出すること。

様式はホームページで公開するほか、第1次選考試験合格者に郵送する。また、専用ホームページによる電子申請でも受け付ける。なお、職歴欄が不足する場合は、同様に公開している職歴追加用紙を使って作成すること。

(2) **提出方法**

インターネットによる提出(電子申請)又は郵送

インターネットによる提出の場合は、第1次選考試験合格者に通知する専用ホームページのURLから手続をすること。郵送の場合、6(3)提出方法を参照すること。郵送先は6(5)の記載と同じ。

(3) **提出期間**

第1次選考試験選考結果発表の日から令和5年8月10日(木)17:00まで

郵送の場合は令和5年8月10日(木)までの消印のあるものに限り受け付ける。

メモ欄

8 選考試験（当日の準備物等については、17 ページ、日程、会場については、18、19 ページ参照）

(1) 第1次選考試験

試験の種類	小	中	高	特別支援				養教	内 容 等
				小	中	高	自		
適性検査	○	○	○	○	○	○	○	○	
筆記試験	総合教養	○	○	○	○	○	○	○	社会人として身につけておくべき一般的知識・教養及び日本と国際社会との関わりや資源・環境問題など地球的視野に立って行動していくための基本的な知識・教養・資質並びに教職教養についての基本的な知識
	専 門 教 養								社会人として身につけておくべき一般的知識・教養及び日本と国際社会との関わりや資源・環境問題など地球的視野に立って行動していくための基本的な知識・教養・資質並びに教職教養についての基本的な知識
	小学校	○			○				国語、社会、数学、理科、外国語及び外国語活動に関するもの
	各教科等		○	○		○	○	○	志願した種別、教科・科目等に関するもの（英語志願者はリスニングテストを含む。）
特別支援教育				○	○	○			特別支援教育に関する共通問題と、五つの教育領域（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱）のいずれか一領域の問題を選択
自立活動							○		特別支援教育に関する問題と特別支援学校自立活動（肢体不自由教育）に関するもの
実技試験	技 術		○		○				志願したそれぞれの教科・科目等の実技（17 ページの準備物等を参照すること）
	音楽、美術 家庭、保健体育		○	○		○	○		
	福 祉			○					
面接試験 (集団面接)		○	○					○	1 グループ5～8名程度 与えられたテーマについての自由討議と個人への質問（30分間程度）
				○	○	○	○	○	1 グループ5～8名程度 教育に関するテーマについての自由討議（30分間程度）

- ※ 「小」「中」の併願者は、面接はいずれか指定する種別で受験する。
- ※ 特別選考Ⅰの志願者は総合教養が免除となる。
- ※ 特別選考Ⅲ～Ⅴの志願者は第1次選考試験のすべてが免除となる。
- ※ 英語志願者の専門教養（英語）の免除条件等は、5 ページを参照。

(2) 第2次選考試験（第1次選考試験合格者及び特別選考Ⅲ～Ⅴ志願者）

試験の種類	小	中	高	特別支援				養教	内 容 等
				小	中	高	自		
模 擬 授 業	○	○	○	○	○	○	○	○	与えられた課題についての模擬授業と授業に関する質問（15分間程度）
面 接 試 験 (個人面接)	○	○						○	第1面接(10分間程度) 小学校志願者には、英語による質問を1問程度実施 第2面接(5分間程度。特別選考Ⅲの志願者は10分間程度)
			○	○	○	○	○		第1面接(15分間程度) 第2面接(10分間程度)
英語志願者に対する 英語面接試験		○	○		○	○			英語による面接(10分間程度)

- ※ 第1次選考試験で第1志望と第2志望の両方に合格した「小」「中」の併願者は、両方の種別で模擬授業及び面接試験を受験する。

(3) 面接、模擬授業等の主な評価の観点

第1次選考試験 面接試験（集団面接）		・豊かな人間性、積極性、柔軟性、社会性、協調性などがあるか。
第2次選考試験	模 擬 授 業	・課題を的確にとらえ、適切な言葉でわかりやすく指導できているか。 ・児童生徒の意欲や関心を引き出し、課題解決へと導く工夫がみられるか。 ・表現力が豊かで、児童生徒をひきつける魅力があるか。
	面 接 試 験 (個人面接)	・教育に対する情熱をもち、教員としての素養と資質が備わっているか。 ・専門的な知識・技能と指導力を有し、社会変化や教育課題に適切に対応する力があるか。 ・連携・協働しながら学校運営に積極的に参画する力があるか。
	英語志願者に対する 英語面接試験	・相手の意向や考え方を正確に聞き取る力があるか。 ・英語で自分の意向や考え方を正確に伝える力があるか。 ・英語教育に関する知識・技術をもち、英語教員としての指導力があるか。

9 選考結果の通知及び採用

- (1) 第1次選考試験の選考結果は、令和5年8月上旬に香川県教育委員会教育長から受験者全員に通知する。また、合格者の種別及び受験番号を香川県庁東館玄関前の掲示板（以下、掲示板）に掲示するとともに、香川県教育委員会のホームページに掲載する。
- (2) 第2次選考試験の選考結果は、令和5年9月中旬に香川県教育委員会教育長から第2次選考試験の受験者全員に通知する。また、合格者の種別及び受験番号を掲示板に掲示するとともに、香川県教育委員会のホームページに掲載する。
- (3) 種別によっては、合格者を追加することがある。この場合、追加合格者には香川県教育委員会教育長から随時通知する。また、追加合格者の種別及び受験番号を掲示板に掲示するとともに、香川県教育委員会のホームページに掲載する。
- (4) 選考結果の総合ランク（不合格になった場合に限る。）及び個人得点について情報提供を行う。希望する者は、願書の情報提供希望欄において「希望する」を、希望しない者は「希望しない」を選択すること。なお、選考結果の総合ランクは、第1次選考試験及び第2次選考試験のそれぞれについて、総合成績を合格者と比較した場合のランク（上位から順にA、B、Cの3区分）とする。
【 上記の選考結果の総合ランク並びに個人得点については、教育委員会事務局の窓口にて口頭により情報提供の請求をすることもできる。この場合、本人であることを確認できる書類（マイナンバーカード（個人番号カード）*、運転免許証等）が必要となる。提供する期間は、それぞれの合格発表の日から1月間とする。
*マイナンバー「通知カード」は本人確認書類として利用できない。】
- (5) 第2次選考試験の合格者は、令和6年4月1日付けで採用する。なお、特段の事情があると認められた場合に限り、令和7年4月1日付けで採用することもある。

10 大学院在学に係る採用時の特例

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の第2次選考試験合格者のうち、受験した種別、教科・科目等の専修免許状を取得できる大学院修士課程等（教職大学院の修士課程を含む。）に入学し、修学を希望する場合、2年間の採用猶予を申し出ることができる。同様に、受験した種別、教科・科目等の専修免許状を取得できる大学院修士課程等（教職大学院の修士課程を含む。）に在籍している者が、引き続き修学を希望する場合、1年間の採用猶予を申し出ることができる。いずれの場合も、第2次選考試験に合格後、送付された通知に記載された期日までに大学院修士課程等での修学または修学継続を理由として、採用猶予の希望を表明し、その後、指定された期日までに「採用猶予申出書」と必要書類を提出し、許可を得る必要がある。

なお、猶予後の採用に当たっては、猶予期間終了までに次の二つの条件を満たす必要がある。

- 大学院修士課程等を修了すること。
- 令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験に合格した種別、教科・科目等の専修免許状を取得すること。

11 給与及び勤務時間等

- (1) 初任給月額について大学新卒の教諭で例示すれば、令和5年4月1日時点では、222,768円（4年制大学新卒 教職調整額含む。）である。このほかに義務教育等教員特別手当、期末手当及び勤勉手当が支給される。また、支給要件に該当する者には、扶養手当、通勤手当、住居手当等も支給される。
- (2) 勤務は原則として月曜日から金曜日までの5日間、1日7時間45分である。ただし、校種によっては変則勤務をすることがある。
- (3) 山間、島しょ部の学校に勤務することがある。

12 特別免許状について

特別免許状は、様々な分野において優れた知識や技術を有する社会人を学校教育に迎え入れ、学校教育の活性化を図る観点から、平成元年4月より設けられた制度である。特別免許状は、都道府県教育委員会が実施する教育職員検定に合格した者に授与され、その都道府県内においてのみ効力を有することとなっている。この教育職員検定の実施については、教育職員免許法において次のように規定されている。

教育職員免許法第5条第3項

前項の教育職員検定は、次の各号のいずれにも該当する者について、教育職員に任命し、又は雇用しようとする者が、学校教育の効果的な実施に特に必要があると認める場合において行う推薦に基づいて行うものとする。

- (1) 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者
- (2) 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者

香川県教育委員会では、これらの基礎資格を有する者が特別選考Ⅰ①又は⑦によって採用内定した場合に、教育職員検定の実施に必要な任命権者としての推薦を行うこととしている。

インターネットによる出願（電子申請） 以下のPDF プレビュー画面で内容確認すること

令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験 願書

入力例

<input type="checkbox"/> 一般選考 <input checked="" type="checkbox"/> 特別選考Ⅰ（5） <input type="checkbox"/> 特別選考Ⅱ <input type="checkbox"/> 特別選考Ⅲ <input type="checkbox"/> 特別選考Ⅳ <input type="checkbox"/> 特別選考Ⅴ		第1志望種別 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 養教(小中) <input type="checkbox"/> 特支小 <input type="checkbox"/> 特支日活 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 養教(高特) <input type="checkbox"/> 特支中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 特支高		第2志望種別 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 養教(小中) <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 養教(高特)		英語
■小・中学校志願者のみ入力 以下の会場で面接試験の受験を希望します。						
第1次選考試験 <input checked="" type="checkbox"/> 香川会場（7/17または7/18） <input type="checkbox"/> 関西会場（7/21） <input type="checkbox"/> どちらの会場でもよい			第2次選考試験 <input type="checkbox"/> 関西会場（8/27） <input type="checkbox"/> どちらの会場でもよい			
英語に関する資格 下記の資格等を取得している者は、英語志願者だけでなく全員入力する。						
実用英語技能検定 準1級 TOEFL (iBT) 92点 TOEIC 870点 IELTS 5.5点 取得年 2018年	TOEFL (iBT) 92点 TOEIC 870点 IELTS 5.5点 取得年 2019年	TOEFL (iBT) 92点 TOEIC 870点 IELTS 5.5点 取得年 2018年	TOEFL (iBT) 92点 TOEIC 870点 IELTS 5.5点 取得年 2023年	<input checked="" type="checkbox"/> 英語志願者のみ第1次選考試験の専門教養（英語）の免除を希望する		<input checked="" type="checkbox"/> 加点申請制度第1次選考試験の総合成績への加点を希望する
志願者 ふりがな 氏名 香川 太郎	性別 男	顔写真が正しく配置されているか確認すること				
生年月日 1998年5月1日生	年齢 (2024.4.1時点) 25歳	資格取得者は全員入力				
志願者連絡先 〒760-8582 電話 087-****-**** 携帯電話 090-****-**** メール ****@*****.**,**	香川県高松市天神前6番1号					
上記以外の連絡先 〒760-8571 電話 087-****-****	香川県高松市番町四丁目1番10号 必ず入力すること。自宅の場合は、「同上」でよい。					
教員免許状 <small>(司書教諭を含む)</small>	種類・教科等 高 1 英語 (その他種類・教科)			種類・教科等 中 専 英語 (その他種類・教科)		
	中 1 英語 (その他種類・教科)			司書教諭		
	高 専 英語 (その他種類・教科)			(その他種類・教科)		
学歴	入学年月 2014年04月	卒業修了(見込)年月 2017年03月	学校・学部・専攻等 香川県立〇〇高等学校普通科		卒業卒業見込等 卒業	修学年数 3か年
	2018年04月	2022年03月	〇〇大学教育学部		卒業	4か年
	2022年04月	2024年03月	〇〇大学教職大学院		修了見込	2か年
	その他					
現在の状況 受験上の配慮を希望する事項	学生 なし ない場合は「なし」と記載すること 記載内容によっては、確認の連絡をすることがある					
身体障害者手帳等 級別・判定区分	なし 障害名 なし					
選考試験の総合ランク・個人得点の情報提供				<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない		
香川県教育委員会が香川県公立学校での臨時的任用職員（講師・養護助教諭）及び非常勤講師等の依頼をするために、願書に記載した個人情報を利用することについて				<input checked="" type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない		
私は、この試験に必要な受験資格をすべて満たし、かつ、学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当していません。また、この願書に記載した事項は事実と相違ありません。						
<input checked="" type="checkbox"/> はい						

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

第1次選考試験合格発表後に、合格者に対し作成いただきます。【令和5年8月10日(木)締切】

令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験 面接カード

用紙1

受験番号	*****	*****	氏名	香川 太朗
教員を志望する理由		教員になって取り組んでみたい事柄		
私が高校時代に…		外国の文化に触れることで…		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">具体的に記述</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">具体的に記述</div>		
卒業論文その他の研究内容及び特に秀でた研究実績		主題 [英語圏における文化の…] 内容の概要 世界における英語利用の…		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・主題が決まっていない場合は、研究分野などを記入すること ・卒業論文がない場合は、「卒業論文はない」などと記入すること </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的な言葉を使うこと ・内容がわかるように具体的に記載すること </div>		
部活動歴等	学 校	所属部等	活動内容 (成績等も)	特技・資格 (免許等)
	中学校	吹奏楽部	吹奏楽コンクール県大会金賞 (3年) 吹奏楽コンクール四国大会銀賞 (3年)	図書館司書 学芸員 ドイツ語 中国語
	高 校	陸上部	県総体400mハードル2位 (2年) 四国総体400mリレー優勝 (3年) 部長	スポーツ・芸術などの活動において、特に秀でた記録、受賞歴等 (国際的又は全国的なものに限る。) 〇〇国際ピアノコンクール2017 第3位
	大学等	ラグロス同好会	週5回程度練習 四国ラグロス選手権出場 主将 中四国大学ラグロス連盟事務局長	ボランティア・国際貢献などの活動歴 学童ボランティア (H30.9.1~H30.9.30)
職 歴	期 間	在職年数	職業 (勤務先、職名も記入)	
	2017年4月 ~ 2018年3月	1年	予備校 (浪人)	
	2020年4月 ~ 2020年4月	1か月	在家庭	
	2020年5月 ~ 2021年3月	11か月	〇〇高等学校非常勤講師 (週30時間)	
2021年4月 ~ 2023年5月	2年2か月	〇〇高等学校育休任期付講師		

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

自己アピール文

私は、以下の校種・教科及び出願資格において特別選考 I ①又は⑦で出願します。

- 1 校種・教科名 小学校・**高等学校**・特別支援学校・養護教諭
- 2 教科（看護）
- 3 出願資格

校種に○を付ける、教科名を書く。

- (1) 特別選考 I ①又は⑦に係る勤務実績

年度	勤務地	勤務状況
例 H31～R5	〇〇市民病院	看護業務(救急病棟)

- (2) 教科に関する専門的な知識又は技能経験、教育に関する熱意と識見

※ (1)の勤務実績から、教科に関する専門的な知識又は技能経験に当たる内容について詳しく述べてください。また、自分が勤務することによって、学校こどのような効果を与えることができると考えられるか、具体的に述べてください。

【記入上の注意】

- 1 様式に沿って、内容を精選して記入すること。
- 2 必ずA4判 縦置き 横書き 表裏1枚にまとめること。
- 3 香川県教育委員会のホームページから様式をダウンロードできる。

令和5年5月8日

氏名 讃岐 姫子

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

令和6年度 講師等を対象とした特別選考による受験申請書

受験番号

※

令和5年5月 日

第1志望 志望種別 () 受験教科・科目 ()

第2志望 志望種別 () 受験教科・科目 ()

※ 第2志望は併願希望者のみ記入すること

氏名 _____

勤務歴（直近から過去にさかのぼって記入すること。）

在職期間	在職年数	勤務先（学校名）	職名及び勤務形態	発令庁
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

【記入上の注意】

- 1 受験番号欄は記入しないこと。
- 2 特選 I ⑤志願者
平成 31 年 4 月 1 日から令和 5 年 5 月 26 日までの期間のうち、24 か月以上の勤務歴を記入すること。
- 特選 I ⑥志願者
令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 5 月 26 日までの期間のうち、1 か月以上の勤務歴を記入すること。
- 特選 I ⑦志願者
(B) の該当者
平成 31 年 4 月 1 日から令和 5 年 5 月 26 日までの期間のうち、12 か月以上の勤務歴を記入すること。
(C) の該当者
平成 31 年 4 月 1 日から令和 5 年 5 月 26 日までの期間のうち、24 か月以上の勤務歴を記入すること。
- 特選 V 志願者
令和 5 年 4 月 1 日から令和 5 年 5 月 26 日までの間の勤務歴（任用予定を含む。）を記入すること。
- 3 在職年数について、1 月のうち 1 日以上勤務していれば 1 月として算定する。ただし、勤務終了日と次の勤務開始日が同一月である場合は、その月数は 1 月とする。
- 4 職名は下記を参考にして記入すること。
(期限付常勤講師、非常勤講師、産・育休代替講師、病休代替講師、育休任期付職員（講師）など)
- 5 勤務形態について、常勤・非常勤の別を記入し、非常勤の場合は週あたりの時間数を記入すること。
- 6 発令庁が香川県教育委員会でない場合は、その該当期間に係る用紙 4 「在職証明書」をこの用紙とともに提出すること。
- 7 香川県教育委員会のホームページから様式をダウンロードできる。

(記入例)

勤務歴（直近から過去にさかのぼって記入すること。）				
在 職 期 間	在職年数	勤務先（学校名）	職名及び勤務形態	発令庁
令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 5 月 26 日	0 年 2 月	〇〇市立 △△小学校	非常勤講師 (週 30 時間)	〇〇市教育委員会
令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日	1 年 0 月	〇〇町立 △△中学校	期限付常勤講師 (常勤)	〇〇町教育委員会
令和 3 年 8 月 30 日～ 令和 4 年 3 月 19 日	0 年 8 月	香川県立 △△高等学校	育休代替講師 (常勤)	香川県教育委員会
令和 3 年 5 月 20 日～ 令和 3 年 8 月 29 日	0 年 4 月	香川県立 △△高等学校	産休代替講師 (常勤)	香川県教育委員会

在 職 証 明 書

(国・市町費関係)

現住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇—〇〇

氏 名 香川 次郎

昭和 平成 63年 10月 16日生)

下記の学校において教育職員として勤務したことを証明する。

令和5年 5月 日

証明者 〇〇市教育委員会

印

在 職 期 間	在職年数	勤務先 (学校名)	職名及び勤務形態
令和 5年 4月 1日～ 令和 5年 5月 26日	0年 2月	〇〇市立△△小学校	非常勤講師 (週30時間)
令和 4年 4月 1日～ 令和 5年 3月 31日	1年 0月	〇〇市立□□中学校	期限付常勤講師 (常勤)
年 月 日～ 年 月 日	年 月		
年 月 日～ 年 月 日	年 月		

【記入上の注意】

- 1 証明する期間は、平成31年4月1日から令和5年5月26日までの間のみとする。
- 2 証明者は、教育委員会等発令者であること。
- 3 在職年数について、1月のうち1日以上勤務していれば1月として算定する。ただし、勤務終了日と次の勤務開始日が同一月である場合は、その月数は1月とする。
- 4 職名は下記を参考にして記入すること。
(期限付常勤講師、非常勤講師、産・育休代替講師、病休代替講師、育休任期付職員(講師)など)
- 5 勤務形態について、常勤・非常勤の別を記入し、非常勤の場合は週あたりの時間数を記入すること。
- 6 複数の市町等での勤務がある場合は、それぞれで証明すること。
- 7 香川県教育委員会のホームページから様式をダウンロードできる。

年 月 日		
-------	--	--

令和6年度 特別選考Ⅲによる受験申請書

受験番号	
------	--

令和5年 5月 日

志望種別 (小) 受験教科・科目 ()

生年月日 昭和 平成 63 年 10 月 16 日 生まれ (35) 歳

※ 令和6年4月1日時点

氏名 香川 次郎

勤務歴 (直近から過去にさかのぼって記入すること)

年度	勤務先 (学校名)	職名	担任歴 (人数)	主な分掌	主任等	部活動	その他
5	〇〇市立△△小学校	教諭	4年3組 (26)	職員研修	現職教育主任	—	—
4	〇〇市立△△中学校	教諭	3年8組 (35)	生徒指導	生徒指導主事	野球部	全中大会出場
3	〇〇町立△△小学校	教諭	—	少人数 (~9月1日)	—	—	産・育休 (9月2日~)
2	〇〇県立△△特別支援学校	講師 (常勤)	病弱 (2) 副担任	営繕	—	手話クラブ	—
元							—
30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【記入上の注意】</p> <p>1 受験番号欄は記入しないこと。</p> <p>2 令和5年度からさかのぼって記入すること。</p> <p>3 職名は、辞令書の職名を記入すること。 講師・臨時的任用の場合は常勤・非常勤の別を記入すること。</p> <p>4 担任歴は、通常学級、特別支援学級等すべて記入すること。()内は、児童生徒数を記入すること。</p> <p>5 産・育休、病休等の場合は、記入例を参考にすること。</p> <p>6 香川県教育委員会のホームページから様式をダウンロードできる。</p> </div>						
29							
28							
27							
26							
25以前							

上記の勤務歴でアピールしたい内容があれば下に記入してください。(担任歴、主な分掌、主任、部活動等)

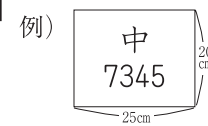
〇〇県(市)の教員として、私が最も力を入れて取り組んだことは、……。特に令和4年度には生徒指導主事として……。

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験 当日の準備物等

(1) 第1次選考試験

対 象	教科・科目等	準 備 物 等
全 員	—	・ 受験票 受験票のダウンロードの通知は7月上旬に送信する予定。印刷して持参すること。
	—	・ 封筒1通（第1次選考試験結果通知書の郵送用） 長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）に94円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名、受験番号を明記したもの。
	総合教養 適性検査	・ HBの鉛筆2本以上
英語免除希望	英 語	・ 5ページに示した英語に関する資格を証明できる書類【原本】
特別選考Ⅱ	—	・ 身体障害者手帳等【原本】
特別選考Ⅰ⑥ 又は 加点申請者	—	・ 2ページ又は4ページに示した資格・加点要件を証明する教員免許状【原本】
特別選考Ⅰ⑦	—	・ 3ページに示した（A）を証明する書類【原本】
「中」及び 「特支」中	理 科	・ 15cm程度の直定規
	音 楽	・ 中学校で使用される教科用図書に掲載されている調性による、「花（ト長調）（武島羽衣作詞 滝廉太郎作曲）」及び「赤とんぼ（変ホ長調）（三木露風作詞 山田耕筰作曲）」の弾き歌い用の伴奏楽譜（移調は認めない。） 【当日指定された1曲について、ピアノ伴奏をしながら主旋律を歌う。】
	美 術	・ デッサン用鉛筆、消しゴム（ネリ消しゴムが望ましい。）、直定規、コンパス
	保健体育	・ トレーニングウェア、運動靴（運動場用及び体育館用）、水泳着、水泳帽、柔道衣（柔道選択者）、面下又は手ぬぐい（剣道選択者）【陸上競技、球技、水泳の3領域及び武道（柔道・剣道を選択）又はダンスの1領域の実技試験】 ・ ゼッケン2枚（25cm×20cmの白布に黒マジックで種別と受験番号を記入したもの）実技を行う服装の胸背部に縫い付けておく。（水泳着以外）
	技 術	・ 電卓（プログラム機能は使用できない。）、直定規
	家 庭	・ 裁縫用具一式、白衣又はかっぽう着、三角巾、手ふき
「高」及び 「特支」高	生 物	・ 15cm程度の直定規
	保健体育	・ 「中」及び「特支」中の保健体育に同じ
	音 楽	・ ピアノ以外の必要な楽器及び伴奏が必要な場合の伴奏者（志願者が準備すること） 【ピアノ伴奏による初見視唱奏の実技試験及び専攻実技試験：任意の1曲を演奏する。ただし、作曲、指揮又は電子オルガン等の鍵盤楽器専攻の志願者は、歌、ピアノ、管弦打楽器又は和楽器での演奏とする。】
	美 術	・ デッサン用鉛筆、消しゴム（ネリ消しゴムが望ましい。）、直定規、コンパス
	家 庭	・ 裁縫用具一式、白衣又はかっぽう着、三角巾、手ふき
	機械・電気・建築	・ 関数電卓（プログラム機能は使用できない。）、直定規
	福 祉	・ 動きやすい服装、室内シューズ



(2) 第2次選考試験

対 象	準 備 物 等
全 員	・ 受験票
	・ 封筒1通（第2次選考試験結果通知書の郵送用） 長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）に94円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名、受験番号を明記したもの。
特別選考Ⅰ①又は⑦の該当者	・ 出願教科・科目に関連する勤務先の所属長等による推薦書 様式は問わないが、業務内容や勤務状況等、在勤時の様子が記載されているもの。 ⑦については（C）の該当者のみ。

令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験 タイムスケジュール

【第1次選考試験】

7月15日(土)

高等学校	県教育センター	8:40	10:00	集団面接 (指定された時間)
特別支援 小中学校 高等学校 自立活動	県教育センター		特支専門 (40分)	集団面接 (指定された時間)

7月16日(日)

小学校	高松高校	7:50	8:30	8:40	10:00	11:20	13:20	15:20
中学校	高松高校	受付	総合教養 (60分)	適性検査 (50分)	専門教養 (60分)		専門教養 (75分)	実技 美術/技術/家庭
高等学校	高松商業高校	受付	総合教養 (60分)	適性検査 (50分)	専門教養 (60分)		13:40 高松高校へ移動 実技 家庭 音楽/体育	実技 美術/福祉
特別支援学校	高松商業高校	受付	総合教養 (60分)	適性検査 (50分)	専門教養 (60分)		13:40 高松高校へ移動 実技 家庭 音楽/体育	15:20 実技 美術/技術/家庭 音楽/体育
養	高松高校	受付	総合教養 (60分)	適性検査 (50分)	専門教養 (60分)		専門教養 (75分)	実技 美術

(特別選考Iの受付は、9:20~)

7月17日(月・祝)、18日(火)

小/中	県教育センター	8:40	集団面接 (指定された日時)
養	県教育センター		集団面接 (指定された日時)
高等学校	県庁北館		集団面接 (指定された日時)

7月21日(金)

小/中	関西会場	8:40	集団面接 (指定された日時)
-----	------	------	----------------

【第2次選考試験】

8月20日(日)~23日(水)、26日(土)のうち、指定された1日

小/中 養	県教育センター	8:20	模擬授業十個人面接 (指定された日時)
----------	---------	------	---------------------

8月18日(金)~23日(水)のうち、指定された1日

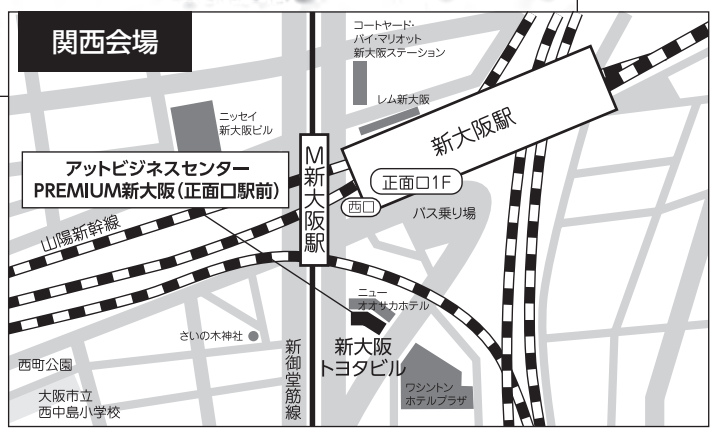
高等学校 特別支援	県庁北館	8:20	模擬授業十個人面接 (指定された日時)
--------------	------	------	---------------------

8月27日(日)

小/中	関西会場	8:20	模擬授業十個人面接 (指定された日時)
-----	------	------	---------------------

試験場の所在地

香川県立高松高等学校	高松市番町三丁目1-1 ・ことでんバス下笠居・香西線「市役所西」下車、徒歩3分 ・JR高松駅から徒歩20分　ことでん瓦町駅から徒歩15分
香川県立高松商業高等学校	高松市松島町一丁目18-54 ・ことでん瓦町駅から徒歩8分 ・ことでん今橋駅から徒歩5分
香川県庁北館	高松市番町四丁目1-10 ・ことでんバス下笠居・香西線「県庁・日赤前」下車、徒歩1分 ・JR高松駅から徒歩25分　ことでん瓦町駅から徒歩15分
香川県教育センター	高松市郷東町587-1 ・ことでんバスイオン高松線「警察学校前」下車、徒歩10分 ・JR高松駅からタクシー約15分 ※自家用車の場合は、香川県教育センターの駐車場を使用してもかまわない。
(関西会場) アットビジネスセンター PREMIUM新大阪	大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10　新大阪トヨタビル9階 ・JR新大阪駅(正面口)から徒歩3分



■提出書類と出願時のチェック■

【方法】 期限	提出書類	一 般 選 考	特 別 選 考 I								特 別 選 考 II	特 別 選 考 III	特 別 選 考 IV※	特 別 選 考 V	書類等提出前のチェック
			① 民間 企業 等 経験 者	② 本 県 ／ 他 県 元 職	③ 他 県 現 職	④ 本 県 実 習 助 手 又 は 寄 宿 舎 指 導 員 経 験 者	⑤ 本 県 講 師 等 経 験 者	⑥ 複 数 免 許 所 有 者	⑦ 一 定 の 英 語 力 を も つ 者	⑧ 国 内 の 教 職 大 学 院 修 了 予 定 者					□受験する種別・教科の普通免許状を所有しているか。 □取得見込みの者は、取得が確実であることを確認したか。
【電子申請】 5/26 17:00	願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	□ PDF プレビュー画面で、記載事項、写真を確認したか。 □ 写真が正しく表示されているか。
	【英語免除希望者】 英語に関する資格 証明の写し	△	△	△	△	△	△	△	△	△					第1次選考試験（7/16（日））に原本持参 □ 取得年月日は平成30年4月1日以降か。
	【特選II志願者】 身体障害者手帳等の 写し										○				第1次選考試験（7/16（日））に原本持参
【郵送】 5/31 (消印有効)	用紙2 自己アピール文		○							○					□ 事前に出願資格の有無について問い合わせたか。 □ A4判 表裏1枚にまとめているか。
	履歴証明書			△											過去に香川県以外の都道府県・指定都市の公立 学校教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあった 者が対象
	用紙3 受験申請書						○	○	○				○		□ 出願資格に合った期間について勤務歴を記 入しているか。
	用紙4 在職証明書						△	△	△						発令庁が香川県教育委員会でない国や市町での 講師等の経験者が対象
	教員免許状の 写し	△	△	△	△	△	○	△	△	△					第1次選考試験（7/16（日））に原本持参 免許状に係る加点申請をする場合は提出する。
	海外留学・勤務経験 に関する証明等								△						
	教職大学院修了見込 証明書										○				
	用紙5 受験申請書											○			
【電子申請】 8/10 17:00 【郵送】 8/10 消印有効	面接カード 職歴追加用紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	第1次選考試験合格者が対象 職歴欄が不足する場合は、別途職歴追加用 紙を使って作成する。
【持参】 第2次 選考試験時	勤務先推薦書		○												様式は問わないが、業務内容や勤務状況等、 在勤時の様子が記載されているもの。特別 選考I⑦については（C）の該当者のみ。

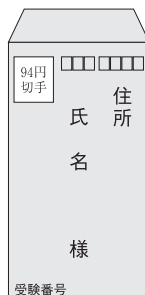
※「令和6年度香川県公立学校教員採用選考試験大学等推薦特別選考実施要項」を参照

※ ○:必ず提出 △:該当する志願者が提出

第1次・第2次試験ともに、封筒1通を持参し提出してください。
(第1次選考試験免除者は5/31までに郵送してください。)

■定型封筒(長形3号)チェック■

- 封筒のサイズを確認したか。
長形3号 窓なし 12×23.5cm
- 「94円切手」を貼っているか。
- 「郵便番号」「住所」「自分の氏名」
「受験番号」を書いたか。
- 敬称は「様」と書いたか。
「行」「宛」とは書かない。



出願及び受験の問い合わせ先
(月曜日～金曜日 8:30～17:00)

香川県教育委員会事務局

義務教育課 087-832-3743(直通)

高校教育課 087-832-3751(直通)

※香川県教育委員会のホームページには、
教員採用選考試験実施要項等を掲載して
います。

